

教 区 報

山 口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 214

2019(令和元)年
7月

CONTENTS

- 2019(令和元)年
本願寺山口別院永代経法要
- 山口別院フォトコンテスト
～浄土真宗のワンショット～
- 平成30年7月豪雨から1年
- 各種行事報告/案内
- 別院・教区行事予定



山口別院フォトコンテスト～浄土真宗のワンショット～ 最優秀賞
「2019年へバトンタッチ」 大角尚武氏



2019(令和元)年 本願寺山口別院永代経法要

～教区全門徒物故者総追悼法要～

6月8日(土)～10日(月)



代表焼香



フォトコンテスト展示



講師：足利孝之氏

本願寺山口別院永代経法要(教区全門徒物故者総追悼法要)が、6月8日(土)から10日(月)の3日間営まれ、約1000人が参拝した。本年はご講師の足利孝之氏(兵庫教区阪神東組安養寺)にお取次いただいた。3日間の帳場等は、須佐組、小月組、熊毛中組の皆様にご奉仕いただいた。法要では、速夜法要のお勤め中に各参拝組より代表焼香が行われ、参拝の皆さまと一緒に日中法要「十二礼作法」、速夜法要「宗祖讃仰作法(音楽法要)」が厳肅な雰囲気の中賑々しく勤修された。

2019(令和元)年 永代経法要各組結衆・列衆出勤者一覧

出勤日	氏 名					
6月8日(土)	岩国組	小島道雄		柳井組	長尾正道	岡本隆有
	岩国北組	榛澤 勉	廣兼知信	山口北組	大庭人雄	早筭徹水
	宇部小野田組	島地 担		美祢東組	高橋達也	中島翔希
	美祢西組	天野善雄		阿武組	藤家賢昭	光永孝之
	豊田組	西 章璽	溪 利恵	豊浦西組	片山敬済	篠原行信
6月9日(日)	熊毛組	松浦大成	金山恵照	防府組	香川 大	宮武 昂
	厚狭西組	土中哲也	萩嶺隆行		山中典征	
	大津東組	鴻嶺義隆		小月組	明 貴徳	小泉照行
	豊浦組	高塚真昭	原 得立			
6月10日(月)	大島組	田村泰成	大海裕孝	熊毛中組	河野教弘	吉田唯教
	熊南組	光壽光夫	伊東慈宣	熊濃組	桂 敬孝	寺本志織
		西寺達美	布田晃一	下松組	清水智弘	藤本弘信
	周南組	御園生宣尚		山口南組	亀山智城	栞原悠純
	宇部北組	杉形尚城	山名学道	萩組	栄 中	下間頼光
大津西組	高橋見性	蓮 三雄				

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

山口別院フォトコンテスト～浄土真宗のワンショット～

たくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。



優秀賞 林 覚氏
「親鸞聖人に見守られていた」



優秀賞 中山 淳氏
「御正忌参り」



最優秀賞 大角尚武氏
「2019年へバトンタッチ」



インスタグラム部門賞 枝廣慶樹氏
「本堂でキャンドルサービス」



優秀賞 香川美里氏
「あかりの灯る道」



平成30年7月豪雨から1年

昨年度の平成30年7月豪雨から早1年が経過した。安芸教区・備後教区を中心に中四国各地にも甚大な被害をもたらし、山口教区内でもご門徒が2名亡くなられたと報告を受けている。あれ以来日本では、北海道胆振東部地震や今年の6月に発生した新潟での地震など、次々と大きな災害が発生している。その影響か、この7月豪雨を含め、東日本大震災や平成28年熊本地震のことを思い出すことが少なくなっているだろうか。

今なお仮設住居での生活を余儀なくされる方々も多く、熊本地震で被災された寺院はようやくよく土地が更地になったなど、まだまだ復興に向け時間と労力が必要な状況だ。

7月12日(金)に、広島別院において、豪雨によって亡くなられた方々を偲び「平成30年7月豪雨一周忌法要」をご門主ご臨席のもと勤修することとなった。この痛ましい災害を忘れることなく、今後も被災された方々に寄り添っていきけるよう、教区の垣根を越え協力をしていかなければならない。

山口教区災害対策委員会では寺院災害見舞金会計より、教区内外へ見舞金をお送りさせて頂いていただきました。

教区内

- 美和組 1件
- 玖珂西組 5件
- 熊毛組 7件
- 大津東組 2件
- 豊浦西組 1件

合計金額 56万円

教区外

- 安芸教区 50万円
- 備後教区 50万円
- 四州教区 50万円

合計金額 150万円

教区内各所よりお寄せいただいた義援金は宗派たすけあい運動募金へお届けさせていただきました。皆様のご協力ありがとうございました。



熊毛組 真行寺



熊毛組 正覚寺



山口教区 門徒総代会全体会

6月3日(月)

山口教区門徒総代会全体会が本願寺山口別院にて行われ、293名の参加があった。

午前中の協議会の後、通訳・

翻訳、執筆・講演などの活動を通じて、国内外への伝道布教活動を実施されている大來尚順氏より「身近な仏教く何気ない言葉を取り返る」と題してご講話をいただいた。大來氏は、私たちが普段から使っている言葉の中には、仏教を由来としたものが多くあるということ、言葉の意味を紐解きながらお話をくださった。

午後からは「御同朋の社会を



講師：大來尚順氏



講師：荻 隆宣氏

めざす運動」山口教区委員会荻隆宣副委員長に、宗門の重点プロジェクトでもある「子どもたちを育むために」と題してお話をいただいた。荻氏は自身のPTA役員等の経験から、子どもたちの今の現状、また取り巻く環境についてお話しされ、宗門が重点的に「子どもの貧困」に取り組む意義を説明された。

総代として、どのように若い世代におみりを伝えていけば良いか、また子どもたちのために何ができるかを考えるきっかけとなった意義深い研修会であった。

まことの保育研修会並びに補任式

4月20日(土)

まことの保育研修会並びに補任式が本願寺山口別院にて行われた。この研修会は、保育連盟加盟園に新たに就職をした保育士・教諭などを主な対象者とし、「まことの保育」を実践するにあたり、誇りと自覚を深めることを目的に開催している。

当日は、京都幼稚園主事の深澤素子先生をお招きし、「日々のなかの まことの保育」という講題で講義をいただいた。講義では、保育現場の中で実践されている「まことの保育」につ



講師：深澤素子氏



補任証の伝達

いてイメージしやすいように実際の写真や動画を交えながら、わかりやすくお話をくださった。

午後からは、本堂にて中村祐順教務所長から一人ひとり補任証の伝達が行われ、51名の新たなまことの保育者が「まことの保育」実践の第一歩を踏み出した。



食堂のようす

会場に入っただけで驚いたのがその活気。毎回300名以上が訪れるということ、食事の準備や会場の設営など大人数のスタッフが奔走していた。齋藤淳理住職にお

運営の仕方

宗門として子どもの貧困に重点的に取り組む中で、6月19日に宇部小野田組西法寺で開催されている「みんなや食堂」にお邪魔させていただいた。

宇部小野田組
西法寺

みんなや食堂

話を聞いて驚いたのが、スタッフの殆どは西法寺のご門徒では無いということ。食堂を開催するきっかけとなった地元の小児科医金子淳子さんと産婦人科医金子法子さん兩名の医院で働く看護師や、ボランティアの大学生などが大半を占めていた。この7月で丸2年活動しているということもあり、統率の取れた動きでテキパキと動かれている印象を受けた。しかし、活動当初は「貧困にあえぐ方々へ」という想いで活動されており、地域の誰もが参加できる今の形に納得できず、実際に離れていってしまうスタッフもいたようだ。それでもこの活動に共感した方々が段々と手を貸してくれるようになり、今の形になったという。参加費は無料で、食材は地元の企業や商店、個人などから提供を受けている。



率先して片付ける齋藤住職

お寺でする食堂

参加者へ「食前・食後の言葉」

の強要は一切していない。ただ一つのルールとして食後に食器を下げる際「ごちそうさまでした」と一言いつてもらうだけ。地域の方には浄土真宗だけではなく、他宗派やキリスト教の方もいる。4月の花祭りや12月の成道会だけは住職がご法話をされているが、それ以外では極力宗教色を出さないよう配慮されていた。初めて参加する人にいきなり「これを読め」と言っても参加しづらくなるだけ。そんなことをせずとも、前回参加したボランティアの高校生は自然と本堂で手を合わせ、あれやこれと質問をしてきたり、食堂をきつかけに法座にお参りをされるよう

になった近隣の方もいるそう。参加する子どもの中には、「食堂」が楽しかったではなく「お寺」が楽しかったと語る子もおり、小学校の宿題の日記の中で、「お坊さんの話が面白かった。また聞きたい」と書いてくれる子もいたと朗らかな顔で齋藤住職は語っていた。

「最近外食に行くと、子どもそっちのけで下を向きスマートフォンやタブレットばかり見ている親をよく見かけるようになった。」その話を聞きながら食堂内を見回すと、子どもや周りの親と話す方ばかりで、スマートフォンを見ている方は一人もいなかった。親子とも同士で仲良くなり、全体が家族のようなコミュニケーションを作り上げていた。また、食堂の机の上には募金箱が置かれており、参加者のご好意で入れていただくようになっている。その基金をもとに、食堂に来ることができない家庭に食料品や衣類などを届ける活動にも取り組んでいる。

他の団体とのコラボ



よしもと住みます芸人によるライブイベント

開催日によっては、他の団体とのイベントを企画することもある。今回は、日本の貧困問題に取り組む第一人者湯浅誠氏が理事長を務める「NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」が、日本全国をまわり子ども食堂を支援する、その第一歩として「みんなにや食堂」とコラボレーションして開催していた。特別協力として、東京おもちゃ美術館や長門市のセンザキッチンに併設されている長門おもちゃ美術館による乳幼児から小学生まで遊べるおもちゃブースや、よしもと住みます芸人

のどさけんさんやその同期のバンビーノさんによるライブイベントなども行われた。会場の外にはフードバンクも設置され、宇部市役所の職員も説明に訪れるなど、民間や行政を巻き込んだ賑々しい催しとなり、参加人数は500名ちかくと、過去最高の人数となった。

お寺が誰のモノなのか

齋藤住職は「初めから出来ないと思ってしまうは何も出来ない。確かに、食堂を始めるにあたって半年間準備をした。その後も食堂の中でマルシェなどの催しをするときには、直接お店に行って協力の依頼もしなければならぬ。けれども、そうすることでい

んどん協力をしてくれる方の輪が広がってきている。人々の宗教に対する考え方、また生活のあり方が変化してきている現代、お寺のあり方も変わっていかなくてはならない。お寺が誰のモノなのかという問いがある。当然、住職のモノでは無い。ご門徒のモノであるという答えをする方もいるが、それも違うように思う。以前研修会でご門徒以外がお寺を使うのは如何なものかという意見をいただいたが、お寺という場所がどういった場所であるか考えたとき、私は地域皆のものだと思っている。誰が来たっていい、どんなことだとしていい、そんな地域の拠り所になってくれればと思う」と話されていた。



スタッフ・ゲストの集合写真

本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期間：2019.7.1～2019.10.31

期 日	氏 名	期 日	氏 名
7月 1日～10日	和 隆道	9月 1日～10日	重枝 真紹
11日～20日	寺田 弘信	11日～20日	石田 敬信
21日～31日	厚見 崇	21日～30日	樹木 正法
8月 1日～10日	藤本 好樹	10月 1日～10日	工藤 顕樹
11日～20日	川越 広慈	11日～20日	杉山 恵雄
21日～31日	松浦 成秀	21日～31日	波佐間正弘

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

別院・教区行事

7月	1日(月)	第4連区布教使研修会 講師/武田 晋氏(萩組光山寺)	山口グランドホテル
	2日(火)	中・四国ブロック少年連盟指導者研修会	広島別院
	3日(水)	講師/大窪シゲキ氏(広島FMパーソナリティー) 講師/大野 豊氏(元広島東洋カープ選手・野球解説者)	山口別院
	4日(木)	別院常例法座	山口別院
	5日(金)	講師/岡村謙英氏(邦西組照蓮寺)	山口別院
	7日(日)	第21回仏教讃歌のつどい	不二輸送機ホール
	7日(日)	山口仏教青年連盟会長会議	山口別院
	11日(木)	臨時教区会	山口別院
	12日(金)	山口教区若婦人の集い	山口別院
	12日(金)	講師/わろてらさん(僧侶と公務員の漫才コンビ) 講師/ちひろ氏(シンガーソングライター)	広島別院
	12日(金)	平成30年7月豪雨一周忌法要	山口別院
	18日(木)	講師/朝枝暁範氏(安芸教区布教団副団長) 山口みのり会第66回研修会並びに総会	山口別院
	20日(土)	講師/新 晃真氏(教区青年布教使会会長) 講師/森田義見氏(下松組勝賢寺)	山口別院
	27日(土)	門徒推進員研修協議会 講師/季平博昭氏(備後教区法光寺) まことの保育 第32回全国保育大会	備後教区
8月	27日(土)	基調講演/西本照真氏(武蔵野大学学長) 記念講演/齋藤亜矢氏(京都造形芸術大学文明哲学研究所准教授) 特別講演/二階堂和美氏(安芸教区大龍寺) 法話/藤間幹夫氏(備後教区光明寺)	山口別院
	5日(月)	別院常例法座	山口別院
	18日(日)	講師/森田義見氏(下松組勝賢寺)	宇部市
	19日(月)	第49回寺院子弟研修会	柳井組
	26日(月)	夏季布教大会	柳井組
	27日(火)	講師/阿部信幾氏(東京教区西福寺)	サンフランシスコ
	27日(火)	第16回世界仏教婦人大会	サンフランシスコ
	3日(火)	講師/本好由紀子氏(北米開教区開教使) 講師/都路恵子氏(仏教研究家)	サンフランシスコ

9月

5日(木)	別院常例法座	山口別院
	講師/尾寺俊水氏(豊田組清徳寺)	山口別院
7日(土)	第12回 第4連区仏教壮年会会員研修会	かめ福
8日(日)	講師/吉村隆真氏(熊本教区良覚寺)	山口別院
10日(火)	公聴会	山口別院
11日(水)	子ども・若者ご縁づくり連絡協議会	山口別院

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、
謹んで敬弔の意を表します
(平成31年3月〜令和元年5月)

小月組 教念寺 住職	泉 俊照(56)	3月18日
美祿西組 生蓮寺 前坊守	照寫 洋子(88)	3月22日
大津東組 清福寺 前住職	林 哲雄(92)	4月2日
大津西組 浄念寺 住職	中原 白道(104)	4月12日
岩国北組 正覚寺 坊守	有間 容子(65)	4月24日
山口北組 正圓寺 坊守	隅井 道枝(87)	5月10日
下松組 正覺寺 前住職	柳田 智昭(92)	5月13日
防府組 明覚寺 前坊守	香川 芳子(90)	5月17日

「平和の鐘」打鐘のお願い

「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」にて打鐘される「平和の鐘」の取り組みにご協力ください。

日時 9月18日 13時15分〜20分
方法 同日同時刻に各ご寺院の梵鐘または喚鐘を打鐘ください



編集後記

戦争があった昭和とちがいがい、平成は平和な時代だった。しかし、災害や事件などで不安な時代でもあった。

「みんなや食堂」の取り組みは、お寺に和やかな場をつくっている。令和は「和」の時代であったと喜べるよう、お寺のあり方を考えたい。

本願寺山口別院・山口教区教務所
〒七五四-0031 山口県山口市小郡花園町三番七号
TEL 〇八三(九七三)四一一一 FAX 〇八三(九七三)四六三一